

高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第29週（7月16日～7月22日）

★お知らせ

○夏型感染症（手足口病・咽頭結膜熱（プール熱）・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

夏型感染症の報告が増加していますので注意しましょう。

手足口病

定点医療機関当たりの報告数は、第28週の2.03から第29週には1.93と横ばいです。県全域から報告があり、須崎、中央東で急減、中央西で減少していますが、幡多で急増、安芸で増加し、特に安芸では警報値を、高知市では注意報値を超えています。

病原体検出情報では臨床診断名「手足口病」として搬入された検体から Rhinovirus が1例、Herpes simplex virus 1 が1例検出されています。その他の検体から手足口病・ヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスの検出状況としては、臨床診断名「なし」として搬入された検体から Enterovirus 71 が1例検出されています。Enterovirus 71 は中枢神経系の合併症の発生率が高いことが知られ、まれに急性髄膜炎や急性脳炎を生ずることがあります。高熱・嘔吐・頭痛が見られる場合は十分に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

咽頭結膜熱（プール熱）

定点医療機関当たりの報告数は、第28週の0.70から第29週は0.63と横ばいです。高知市、須崎で急減していますが、中央西で急増、幡多で増加し、特に幡多では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報ではアデノウイルスによる感染症8例の報告があります。

<予防方法> これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。また、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けるなどして、感染予防に努めてください。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第28週の2.93から第29週には2.57と横ばいです。幡多で急減していますが、安芸、中央西で急増しています。

定点医療機関からのホット情報では、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌を原因とする胃腸炎4例の報告があります。

病原体検出情報では臨床診断名「無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎」として搬入された検体から Herpes simplex virus 1 が1例検出されています。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも5例の報告があることから引き続き注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。

<予防方法> 手洗いが有効です。

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第28週の0.27から第29週は0.33と3週連続で増加しています。高知市では減少していますが、須崎、中央東では急増し、特に須崎では警報値を超えています。

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。7日前後の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットです。

飛沫感染や接触感染なので、手洗い、うがい、咳エチケット等の予防対策が有効です。予防接種はありません。ウイルス排泄時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

○百日咳に気を付けて！

第29週に百日咳の発生届けが、高知市保健所から5例、中央西福祉保健所から1例、須崎福祉保健所管内から3例報告されました。2018年にはいって高知県内の百日咳の届出は合計131例となっています。

県では県内における百日咳の報告数が全国と比較して多くなっていたことから、感染症発生動向調査（週報）での注意喚起に加えて、6月13日には健康政策部健康対策課からも、幼稚園、保育園や学校等の集団生活が行われる場所での集団発生に対する注意喚起を関係機関を通じて行っています。

百日咳は、感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染により感染します。そのため、比較的軽い症状の患者や感染しても症状が軽いため百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することも考えられることから注意してください。

＜予防方法＞ 飛沫感染予防には、手洗い、咳エチケットです

- ・生まれた直後から百日咳にかかる可能性があります。咳が続いている人は、百日咳の可能性も考えて、赤ちゃんに注意して接しましょう。
- ・外出時にはマスクを着用し、人混みはなるべくさけ、帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- ・定期予防接種があります。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●国立感染症研究所 百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン

https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis_guideline_180425.pdf

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆山や草むらでの野外活動の際にはダニに注意



農作業や草刈りの時には、長袖・長ズボンで肌の露出を出来るだけ少なくしましょう。

第 29 週に中央西福祉保健所管内から 1 例日本紅斑熱の発生届けがありました。

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

| 忌避剤 | 有効成分含有率 | 分類 | 有効持続時間 | 注意事項 | 特徴 |
|-------|--------------|--------------|--------|----------------------|---|
| ディート | 5～10% | 防除用 医薬部外品 | 1～2時間 | 6ヶ月未満児 には 使用禁止 | ・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を 腐食することもある |
| | 12% | 防除用 医薬品 | 約3時間 | | |
| | 高濃度製剤 30% | 防除用 医薬品 | 約6時間 | 12歳未満は 使用禁止 | |
| イカリジン | 5% | 防除用 医薬部外品 | ～6時間 | | |
| | 高濃度製剤 15% | 防除用 医薬品 | 6～8時間 | | |

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

SFTS はマダニからの感染が一般的ですが、最近の研究で、SFTS ウイルスに感染し、発症している野生動物やイヌ・ネコなどの動物の血液から SFTS ウイルスが検出されています。このことは、SFTS ウイルスに感染している動物の血液などの体液に直接接触した場合、SFTS ウイルスに感染することも否定できませんので、動物に触った後は必ず手洗いをするなどの感染予防に努めましょう。また、体調不良の動物と接触した後、発熱等の症状が出た時は、早めに医療機関を受診してください。その際には、動物との接触歴についても申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_ga.html
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

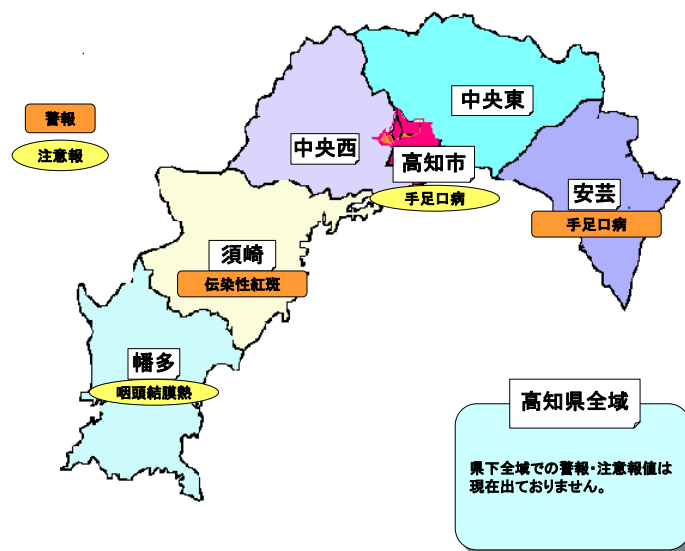
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↓：減少 ↓：急減

| 疾病名 | 推移 | 定点当たり報告数 | 県内の傾向 |
|---------------|----|----------|--|
| 感染性胃腸炎 | → | 2.57 | 幡多で急減していますが、安芸、中央西で急増しています。 |
| 手足口病 | → | 1.93 | 須崎、中央東で急減、中央西で減少していますが、幡多で急増、安芸で増加し、安芸では警報値を、高知市では注意報値を超えています。 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ↓ | 0.87 | 中央東、安芸で急減、県全域、高知市、須崎で減少していますが、幡多で急増しています。 |
| 咽頭結膜熱 | → | 0.63 | 高知市、須崎で急減していますが、中央西で急増、幡多で増加し、幡多では注意報値を超えています。 |
| 突発性発疹 | ↗ | 0.50 | 県全域、幡多、高知市、中央東で増加しています。 |

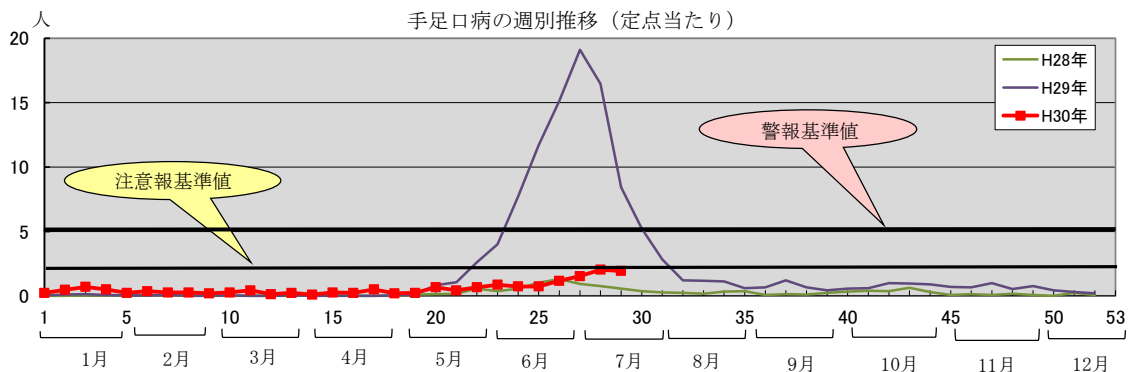
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

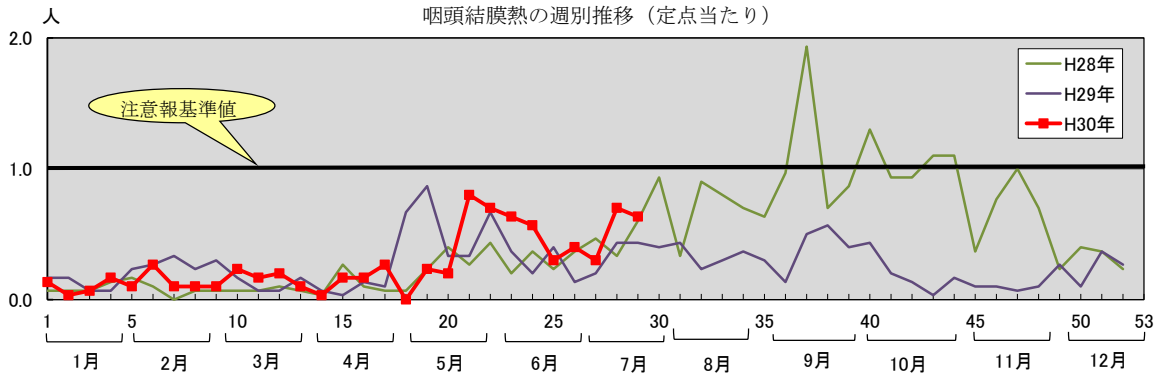
○手足口病 第29週：1.93（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.93（前週：2.03）と横ばいです。須崎 0.50（前週：4.50）中央東 0.29（前週：1.14）で急減、中央西 1.00（前週：1.67）で減少していますが、幡多 0.60（前週：0.20）で急増、安芸 9.00（前週：5.50）で増加し、安芸では警報値を、高知市 2.82（前週：2.45）では注意報値を超えています。年齢別に見ると、患者の 97%が 5歳以下となっています。



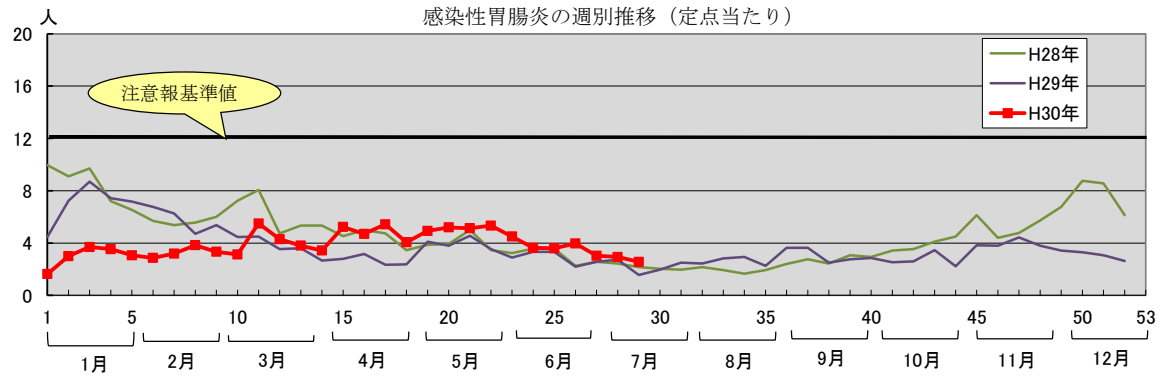
○咽頭結膜熱 第 29 週 : 0.63 (注意報値 : 1.00 警報値 : 3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.63 (前週 : 0.70) と横ばいです。高知市 0.27 (前週 : 0.64) 須崎 0.00 (前週 : 1.00) で急減していますが、中央西 0.67 (前週 : 0.33) で急増、幡多 2.80 (前週 : 2.20) で増加し、幡多では注意報値を超えています。



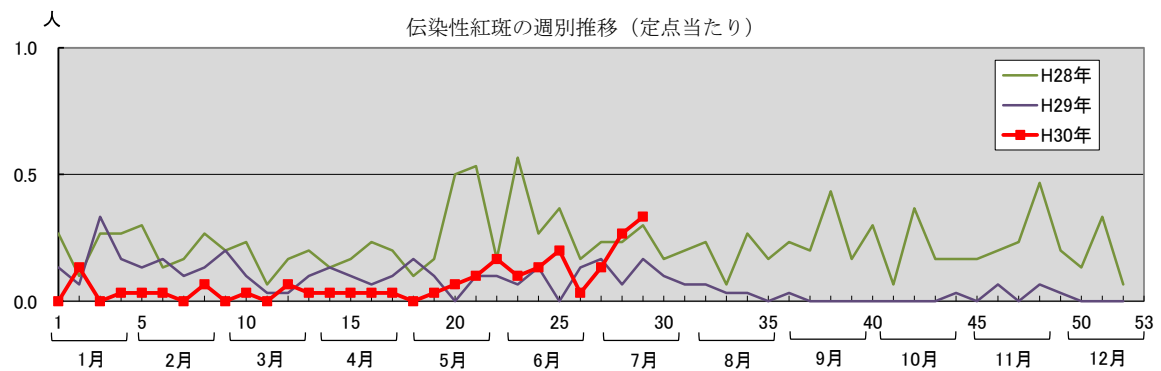
○感染性胃腸炎 第 29 週 : 2.57 (注意報値 : 12.00 警報値 : 20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.57 (前週 : 2.93) と横ばいです。幡多 2.40 (前週 : 6.40) で急減していますが、安芸 5.50 (前週 : 2.50) 中央西 0.67 (前週 : 0.33) で急増しています。



○伝染性紅斑 第 29 週 : 0.33 (注意報値 : 1.00 警報値 : 2.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.33 (前週 : 0.27) と増加しています。高知市 0.36 (前週 : 0.55) で減少していますが、須崎 2.00 (前週 : 0.50) 中央東 0.14 (前週 : 0.00) で急増し、須崎では警報値を超えています。



★病原体検出情報

| 受付週 | 臨床診断名 | 臨床症状 | 年齢 | 性別 | 保健所 | ウイルス、細菌の検出状況 |
|-----|---------------|--------------|----|----|-----|--------------------------------------|
| 29 | 手足口病 | 36°C,発疹,口内炎, | 1 | 女 | 幡多 | Rhinovirus |
| 29 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 38°C,上気道炎, | 4 | 女 | 高知市 | <i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264 |

前週以前に搬入

| 受付週 | 臨床診断名 | 臨床症状 | 年齢 | 性別 | 保健所 | ウイルス、細菌の検出状況 |
|-----|---------------|---------------|------|----|-----|------------------------|
| 27 | — | 39℃, | 0ヶ月 | 女 | 高知市 | Enterovirus 71 |
| 27 | 無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎 | 38℃,嘔吐,嘔気, | 13 | 男 | 高知市 | Herpes simplex virus 1 |
| 27 | 不明発疹症 | 37℃,下痢,発疹, | 1 | 男 | 須崎 | Herpes simplex virus 1 |
| 27 | 手足口病 | 発疹, | 2 | 男 | 須崎 | Herpes simplex virus 1 |
| 27 | 不明発疹症 | 発疹, | 6 | 男 | 須崎 | Herpes simplex virus 1 |
| 28 | 気管支炎 | 38℃,気管支炎,肝機能, | 11ヶ月 | 男 | 中央東 | Cytomegalovirus |
| 28 | 不明発疹症 | 39℃,発疹, | 6 | 男 | 須崎 | Human herpes virus 7 |

★全数把握感染症

| 類型 | 疾病名 | 件数 | 累計 | 内 容 | 保健所 | |
|----|-------------|--------------------|----|----------|----------|-----|
| 3類 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 1 | 1 | 10~14歳 女 | 高知市 | |
| 4類 | 日本紅斑熱 | 1 | 10 | 70歳代 男 | 中央西 | |
| 5類 | 百日咳 | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 1 | 6 | 90歳代 男 | 高知市 |
| | | | 1 | | 0~4歳 女 | |
| | | | 1 | | 5~9歳 男 | |
| | | | 1 | | 5~9歳 男 | |
| | | | 1 | 131 | 10~14歳 女 | 中央西 |
| | | | 1 | | 10~14歳 女 | |
| | | | 1 | | 15~19歳 男 | 須崎 |
| | | | 1 | | 5~9歳 女 | |
| | | | 1 | | 10~14歳 男 | |
| | | | 1 | | 10~14歳 女 | |

★定点医療機関からのホット情報

| 保健所 | 医療機関 | 情 報 |
|-----|---------------|--|
| 高知市 | 高知医療センター小児科 | ヒトメタニューモウイルス2例(2ヶ月男、2歳女) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎1例(1歳男) 病原性大腸菌1例(9ヶ月男) |
| | けら小児科・アレルギー科 | 病原性大腸菌O-1腸炎2例(4歳、15歳) 病原性大腸菌O-25+カンピロバクター腸炎1例(2歳) |
| | 福井小児科・内科・循環器科 | 伝染性紅斑2例(1歳男、2歳女) 手足口病13例 溶連菌感染症1例 流行性耳下腺炎1例(5歳女) |
| 中央西 | 石黒小児科 | 口唇ヘルペス2例(43歳女、44歳女) |
| | くぼたこどもクリニック | ヘルパンギーナ1例(10ヶ月女:仁淀川町) 突発性発疹1例(10ヶ月女:仁淀川町) |
| | 日高クリニック | 百日咳1例(15歳男:LAMP法陽性) |
| 須崎 | もりはた小児科 | 流行性角結膜炎2例(1歳男:結膜アデノチェック陽性) 百日咳:今週無し |
| 幡多 | こいけクリニック | アデノウイルス3例(1歳男、2歳女、4歳男) |
| | さたけ小児科 | アデノ3例(1歳女、2歳男2人) |
| | 幡多けんみん病院小児科 | hMPV陽性1例(1歳男) |

★全国情報

第27号（7月2日～7月8日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核358例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症79例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎13例、A型肝炎32例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病1例、
デング熱3例、日本紅斑熱5例、レジオネラ症75例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎8例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症24例
急性弛緩性麻痺3例、急性脳炎10例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症12例、後天性免疫不全症候群13例
侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例
侵襲性肺炎球菌感染症20例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒106例
播種性クリプトコックス症3例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
百日咳136例、風しん2例、麻しん9例

削除予定：麻しん1例

報告遅れ：E型肝炎5例、エキノコックス症1例、回帰熱1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症8例
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症24例、急性弛緩性麻痺1例、急性脳炎3例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒67例
播種性クリプトコックス症3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、百日咳73例、
風しん3例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第29週 平成30年7月16日(月)～平成30年7月22日(日)

高知県衛生研究所

| 定点名 | 疾病名 | 保健所 | 第29週 | | | | | | | 計 | 前週 | 全国(28週) | 高知県(29週末累計) H30/1/1～H30/7/22 | 全国(28週末累計) H30/1/1～H30/7/15 |
|--------------------|-----------------------|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------|----------------|---------------------|-------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| | | | 安芸 | 中央東 | 高知市 | 中央西 | 須崎 | 幡多 | | | | | | |
| インフルエンザ | インフルエンザ | | | | | | | | () | () | 355 (0.07) | 20,862 (434.63) | 1,759,237 (355.83) | |
| 小児科 | 咽頭結核熱 | | | | 3 | 2 | | 14 | 19 (0.63) | 21 (0.70) | 2,121 (0.68) | 236 (7.87) | 40,886 (12.95) | |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | | 1 | | 19 | | 2 | 4 | 26 (0.87) | 39 (1.30) | 6,971 (2.22) | 1,254 (41.80) | 220,120 (69.72) | |
| | 感染性胃腸炎 | 11 | 20 | 32 | 2 | | 12 | 77 (2.57) | 88 (2.93) | 14,782 (4.71) | 3,378 (112.60) | 480,272 (152.13) | | |
| | 水痘 | | | 4 | | | | 4 (0.13) | 2 (0.07) | 846 (0.27) | 155 (5.17) | 29,516 (9.35) | | |
| | 手足口病 | 18 | 2 | 31 | 3 | 1 | 3 | 58 (1.93) | 61 (2.03) | 6,551 (2.09) | 498 (16.60) | 47,930 (15.18) | | |
| | 伝染性紅斑 | | 1 | 4 | 1 | 4 | | 10 (0.33) | 8 (0.27) | 1,057 (0.34) | 64 (2.13) | 13,024 (4.13) | | |
| | 突発性発疹 | | 3 | 5 | 1 | 1 | 5 | 15 (0.50) | 11 (0.37) | 1,722 (0.55) | 311 (10.37) | 39,266 (12.44) | | |
| | ヘルパンギーナ | | | 2 | 2 | | 1 | 5 (0.17) | 4 (0.13) | 7,600 (2.42) | 38 (1.27) | 22,378 (7.09) | | |
| | 流行性耳下腺炎 | | | 1 | | | | 1 (0.03) | 4 (0.13) | 615 (0.20) | 41 (1.37) | 14,099 (4.47) | | |
| | RSウイルス感染症 | | 1 | | | | 2 | 3 (0.10) | 1 (0.03) | 2,194 (0.70) | 199 (6.63) | 34,249 (10.85) | | |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | | | | | | () | () | 14 (0.02) | () | 392 (0.56) | | |
| | 流行性角結膜炎 | 2 | | 1 | | | | 3 (1.00) | 3 (1.00) | 640 (0.92) | 27 (9.00) | 15,139 (21.72) | | |
| 基幹 | 細菌性髄膜炎 | | | | | | | () | () | 13 (0.03) | 3 (0.38) | 270 (0.56) | | |
| | 無菌性髄膜炎 | | | | | | | () | () | 23 (0.05) | 1 (0.13) | 341 (0.71) | | |
| | マイコプラズマ肺炎 | | | | | | | () | 1 (0.13) | 78 (0.16) | 47 (5.88) | 2,178 (4.54) | | |
| | クラミジア肺炎 (オウム病は除く) | | | | | | | () | () | 1 () | 12 (1.50) | 95 (0.20) | | |
| | 感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る) | | | | | | | () | () | 7 (0.01) | 29 (3.63) | 2,969 (6.19) | | |
| 計 (小児科定点当たり人数) | 31 (14.50) | 28 (4.00) | 102 (9.17) | 11 (3.67) | 8 (4.00) | 41 (8.20) | 221 (7.26) | | | 45,590 | 27,155 (640.44) | 2,722,361 | | |
| 前週 (小児科定点当たり人数) | 19 (9.00) | 35 (4.99) | 110 (9.73) | 12 (3.98) | 17 (8.50) | 50 (10.00) | | 243 (7.96) | | | | | | |

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

| 定点名 | 疾病名 | 保健所 | 第29週 | | | | | | | 計 | 前週 | 全国(28週) | 高知県(29週末累計) H30/1/1～H30/7/22 | 全国(28週末累計) H30/1/1～H30/7/15 |
|--------------------|-----------------------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|--------|---------|---------------------------------|--------------------------------|
| | | | 安芸 | 中央東 | 高知市 | 中央西 | 須崎 | 幡多 | | | | | | |
| インフルエンザ | インフルエンザ | | | | | | | | | | 0.07 | 434.63 | 355.83 | |
| 小児科 | 咽頭結核熱 | | | | 0.27 | 0.67 | | 2.80 | 0.63 | 0.70 | 0.68 | 7.87 | 12.95 | |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | | 0.14 | | 1.73 | | 1.00 | 0.80 | 0.87 | 1.30 | 2.22 | 41.80 | 69.72 | |
| | 感染性胃腸炎 | 5.50 | 2.86 | 2.91 | 0.67 | | 2.40 | 2.57 | 2.93 | 4.71 | 112.60 | 152.13 | | |
| | 水痘 | | | 0.36 | | | | 0.13 | 0.07 | 0.27 | 5.17 | 9.35 | | |
| | 手足口病 | 9.00 | 0.29 | 2.82 | 1.00 | 0.50 | 0.60 | 1.93 | 2.03 | 2.09 | 16.60 | 15.18 | | |
| | 伝染性紅斑 | | 0.14 | 0.36 | 0.33 | 2.00 | | 0.33 | 0.27 | 0.34 | 2.13 | 4.13 | | |
| | 突発性発疹 | | 0.43 | 0.45 | 0.33 | 0.50 | 1.00 | 0.50 | 0.37 | 0.55 | 10.37 | 12.44 | | |
| | ヘルパンギーナ | | | 0.18 | 0.67 | | 0.20 | 0.17 | 0.13 | 2.42 | 1.27 | 7.09 | | |
| | 流行性耳下腺炎 | | | 0.09 | | | | 0.03 | 0.13 | 0.20 | 1.37 | 4.47 | | |
| | RSウイルス感染症 | | 0.14 | | | | 0.40 | 0.10 | 0.03 | 0.70 | 6.63 | 10.85 | | |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | | | | | | | | 0.02 | | 0.56 | | |
| | 流行性角結膜炎 | 2.00 | | 1.00 | | | | 1.00 | 1.00 | 0.92 | 9.00 | 21.72 | | |
| 基幹 | 細菌性髄膜炎 | | | | | | | | | 0.03 | 0.38 | 0.56 | | |
| | 無菌性髄膜炎 | | | | | | | | | 0.05 | 0.13 | 0.71 | | |
| | マイコプラズマ肺炎 | | | | | | | | 0.13 | 0.16 | 5.88 | 4.54 | | |
| | クラミジア肺炎 (オウム病は除く) | | | | | | | | | | 1.50 | 0.20 | | |
| | 感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る) | | | | | | | | | 0.01 | 3.63 | 6.19 | | |
| 計 (小児科定点当たり人数) | 14.50 | 4.00 | 9.17 | 3.67 | 4.00 | 8.20 | 7.26 | | | | 640.44 | | | |
| 前週 (小児科定点当たり人数) | 9.00 | 4.99 | 9.73 | 3.98 | 8.50 | 10.00 | | 7.96 | | | | | | |

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2018年7月23日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。